

平成27年度事業計画

(平成27年3月1日から平成28年2月29日まで)

平成27年度において、本会は溶接研究の拡充振興および溶接教育の推進強化を目標として下記の事業を行う。

I 平成27年度事業計画

1. 全国大会 (定款4条1項)

1.1 春季全国大会

平成27年4月22日～24日：学術総合センター 2階 一橋大学 一橋講堂 (東京)

研究発表講演(88件)、特別講演「都市インフラの現状と長寿命化」、シンポジウム「都市インフラに貢献する接合・補修・評価技術」(講演6件)、フォーラム「溶接・接合プロセスの先進可視化・シミュレーション技術-次代を拓くデジタル技術の最前線-」(講演8件)、若手会員の会イブニングフォーラム「学協会における若手活動とトレンド」

1.2 秋季全国大会

平成27年9月2日～4日：北海道科学大学 (北海道)

研究発表講演、特別講演、溶接学会論文賞受賞講演、フォーラム、ポスターセッション、技術セッション、ワークショップ

2. 講習会 (定款4条1項)

2.1 平成27年度溶接入門講座 (第46回)

会期 平成27年6月2日、3日

会場 フォーラムミカサエコ (東京)

平成27年度溶接入門講座 (第47回) (中国支部との共同開催)

会期 平成27年11月予定

会場 広島地区予定

2.2 平成27年度溶接工学夏季大学 (第63回) 「溶接中堅技術者講座」

会期 平成27年7月予定 (3日間)

会場 大阪大学大学院工学研究科 岡田メモリアルホール (大阪)

2.3 平成27年度溶接専門講座 (第2回)

高エネルギービーム加工研究委員会と溶接教育委員会の共同開催

会期 平成27年10月29日

会場 フォーラムミカサエコ (東京)

3. 刊行 (定款4条3項)

3.1 溶接学会誌 84巻2号 (平成27年3月号)～85巻1号 (平成28年1月号) 8冊

3.2 溶接学会論文集 (WEB出版) 第33巻2号 (平成27年4月)～第34巻1号 (平成28年3月) 4冊

3.3 WEB版全国大会講演概要集 (第96集及び第97集) 2回

3.4 平成27年度溶接工学夏季大学教材「溶接中堅技術者講座」

3.5 溶接学会技術資料を随時刊行する。

4. 第83回通常総会

日時 平成27年4月23日 (木)

開会 午前10時00分 閉会 午前11時30分

場所 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2丁目1-1

学術総合センター 一橋記念講堂

議題 1. 平成26年度事業報告の件

2. 平成26年度決算の件

3. 監査報告

4. 名誉員推薦

5. 特別員推薦

6. 表彰

7. 溶接学会フェロー認定

5. 役員会等

5.1 理事会

定例理事会を6回(3,4,6,9,12,2各月)及び必要あるとき開催

5.2 各業務担当理事会

必要あるとき随時開催

5.3 支部長会議

必要あるとき随時開催

6. 業務委員会活動

6.1 企画委員会

将来ビジョンWGでの調査、分析、検討結果と答申に基づいて、溶接・接合分野の再定義と活動領域の拡充についての施策を策定して、各研究委員会、業務委員会、支部の活動に反映させる。具体的には、溶接学会でカバーする研究領域を明確化すると共に時代に対応した拡充を図る。また、このような活動領域拡大の見える化を推進するために、溶接学会として社会にアピールするテーマでの特別研究会、アドホック研究会の設置、学会主催シンポジウムの開催、論文集特集号の出版、全国大会でのオーガナイズドセッションの開催などを推進する。その際に、他学協会との積極的な連携も視野に入れる。また、溶接分野の重要性をアピールするために学会誌、ホームページでの情報発信を強化する。さらに、SIPやISMAなどの国プロの研究活動と連携することで、溶接分野の重要性を各省庁、日本学術振興会などへアピールする方策を講じる。国際化対応に関しては、Welding Letterの創刊を足がかりに、将来的にIFを有する英文Journalの発刊に向けた検討を行う。また、AWSとの共催による9WS開催を国際的な情報発信に活用する。会員サービスや教育活動に関しては、本部主催の講習会に加えて、支部と連携して地域の企業や中立機関に役立つ講習会、技術相談などきめ細かい施策を検討する。また、日本溶接協会との連携強化により、学会活動の活性化に努める。

6.2 溶接情報化委員会

定例委員会及び情報化WGを開催し、会員への各種サービス提供の効率化・迅速化を図るため、会員入退会、委員会委員認証、会費、イベント情報発信などを一元化できる情報管理システムの構築を推進する。この情報管理システムは、J-STAGEともリンクさせる予定である。

研究委員会学会誌や論文集、全国大会講演概要のアーカイブ化を進めるとともに、会員への溶接関連情報の速報として「溶接学会便り」をE-mailで発信する。また、日本溶接協会(溶接情報センター及び溶接会館図書室)と連携して、溶接情報の充実と一般公開を推進する。

6.3 編集委員会

溶接学会誌及び溶接学会論文集の編集及び刊行を行う。論文集はWEB論文集として発行する。溶接学会誌は年8号を刊行し、特集、レビュー&トレンドなどの企画を行う。溶接接合教室-実践編-を継続して連載する。また、本連載が平成26年度で終了するので、平成27年度から溶接接合教室-専門編-の新連載を開始する。

溶接学会誌各号の記事に対する学会員モニターによるアンケートを実施し、学会誌の内容充実に努める。平成26年のアンケートの取りまとめを行い、集計結果を学会誌(Vol.84 No.5予定)にて報告する。年間の学会誌掲載記事より、ベストオサー賞候補者を選考する。

学会誌記事の一部について、カラー図面や動画をWebから閲覧可能なように、電子化の試行を行う。また、電子化に対する会員の要望を反映する方策を検討する。

溶接学会誌は創刊号からを対象として、科学技術情報発信・流通総合システム(J-stage)にて、会員には発行直後から公開、非会員には発行日から3年経過後に公開する。溶接学会論文集は創刊号からを対象として、会員には発行直後から同サービスにて公開する。但し、非会員には非公開とする。英文誌STWJ(Science and Technology of Welding and Joining)の共同編集に引き続き参加する。

6.4 論文査読・審査委員会

ウェブ利用による電子委員会は開始から9年を経過して軌道に乗り定着し、平成24年度末からペーパーレスに対応した電子査読システムの運用を開始した。これにより、以前のシステムより投稿から掲載までの期間の短縮を促進している。さらなる、査読者への利便性と短縮を図るために、使いやすい電子査読システムへの改善を図っていく。期間短縮と投稿者の要望に応えるために、投稿受付のExpress査読を全国大会からの推薦論文に適用している。このExpress論文の査読過程でシステムの課題を検討・改善する。平成28年度を目指して、一般会員からのExpress投稿を受け付けられるようする。

また、研究成果の速報を論文集により行えるようにWelding letterの新設も継続して検討する。原則年度内1回の全委員が集まる定例委員会を開催し、電子委員会システム遂行上の課題の確認と改善のための検討、およびインターネットのみでは伝わりにくい種々の意見交換および議論にあてる。溶接学会論文集とSTWJとの関係を明確にし、課題などを検討していく。この活動を通じて、海外への本学会研究活動の情報発信を強くする方法も検討する。

6.5 全国大会運営委員会

- (1) 全国大会の企画・運営について審議決定及び実施する。
- (2) 講演概要集第96集及び第97集を発行する。
- (3) 平成27年度秋季および平成28年度春季全国大会プログラムを編成する。
- (4) 全国大会における優秀な口頭発表に対する「エクスプレス」投稿の無料特典者の審査・推薦を行う。
- (5) 全国大会における35歳以下の研究者による口頭発表に対し、溶接学会優秀研究発表賞の審査・推薦を行う。
- (6) 全国大会における35歳以下の研究者によるポスター発表に対し、溶接学会優秀ポスター発表賞の審査・推薦を行う。
- (7) オーガナイズド・セッションの新設など全国大会の新しいサービスを検討する。

6.6 溶接教育委員会

- (1) 必要に応じて委員会を開催し、本会の普及・教育活動に関する課題について検討する。
- (2) 27年度IIW国際溶接技術者特認コースの試験実施に向けて、J-ANB・日本溶接協会と連携し、プロフェッショナル・インタビュー、プロジェクトワーク、最終筆記試験などの実施要領を検討する。
- (3) IIW特認コースの受験者のために、本部・支部主催の講座・講習会をモジュール毎に整理するとともに、受講者のニーズをヒアリングしながら、内容を企画立案し実施する。
 - 1) 平成27年度溶接工学夏季大学（前掲）
 - 2) 平成27年度溶接入門講座（前掲）
 - 3) 平成27年度溶接専門講座（研究委員会と共催、前掲）
 - 4) 溶接技術実用講座（支部と共催）
 - 5) 新規企画講習会、セミナーなど
- (4) 溶接学会各支部や研究委員会、日本溶接協会が企画・実施する講習会やセミナー、シンポジウムについて、IIW特認コースWGと連携してIIW履修ポイントを算定・認定する。
- (5) IIW第XIV委員会等と連絡し、各国と溶接教育について情報を交換する。
- (6) 溶接技術者・溶接技能者の育成のための学協会と教育機関（大学・高専・工業高校）の連携について検討する。

6.7 国際交流委員会

- (1) 必要ある時随時開催し、国際交流事業の企画立案及び実行態勢の整備を行う。
- (2) 国際溶接学会（第68回IIW年次大会、6/28～7/3@フィンランド・ヘルシンキ）に参加する。
- (3) アジア溶接連盟（AWF）の活動及びシンポジウムに引き続き参加する。
- (4) Trends in Welding Research 国際会議を9WSとして2016年日本でAWSとの共催開催を検討する。

7. 若手会員の会

7.1 若手会員の会運営委員会

若手会員間のネットワーク強化・国際化を促進するとともに、地方支部での若手会員の活動を積極的に支援する。また、若手会員・学生員、および賛助員企業の学会活動に対する積極的な参加を促すことを目的に、若手会員・学生員、および賛助員企業に対して魅力ある各種イベント・事業を企画・実施する。さらに、学会員以外の方々にも参加していただき、学会員の増強・学会の広報の一助となるような行事を企画し、より幅広く活動を展開する。

7.2 イベント

(1) 春季全国大会フォーラム

主 題：学協会における若手活動とトレンド（講演3件）

日 時：平成27年4月23日（木）17：00～18：55

場 所：学術総合センター2階 一橋大学 一橋講堂 中会議場2（春季全国大会開催会場）

(2) 秋季全国大会ポスターセッション運営協力

日 時：平成27年9月3日（木）予定

場 所：北海道科学大学（秋季全国大会開催会場）

(3) 他学会若手組織との合同シンポジウムの開催について

日本鉄鋼協会創形創質部会若手フォーラムと軽金属学会若手の会との合同シンポジウムを開催

題 目：「若手研究者・技術者講演会～金属材料加工シンポジウム～」

日 時：平成27年6月19日（金）

場 所：高輪和彊館

(4) 四国地区での若手研究会と施設見学会（四国支部と共催）

日 時：平成27年10月頃（予定）、場所未定

(5) 研究会と施設見学会（九州支部若手グループと共催）

日 時：平成27年12月頃（予定）、場所未定

(6) 溶接若手WELNET勉強会（年3回の予定）

日時・場所：

平成27年4月24日・東京（第1回）、

平成27年9月・北海道（第2回）、

平成27年10月頃・四国（第3回）

(7) 若手会員の交流・活動の活性化、若手会員の増強などに資する提言を行う。

7.3 情報交換および広報

(1) 溶接学会誌「若手会員の会自由編集のページ」に連載記事、活動報告等を掲載する。

(2) 溶接学会誌に「スポットライトー若手の特集記事一」を掲載する。

(3) ホームページに、活動報告、研究室・研究所紹介等の情報を掲載する。

(4) メーリングリスト（E-mail）による情報交換を促進する。

8. 研究活動

8.1 研究推進部会

(1) 随時開催し、各研究委員会の活動状況の把握及び調整並びに特別研究会、アドホック研究会及びミニ研究会等の設置についての起案・規模策定及び理事会への答申等を行う。学会活動の情報化に伴う研究委員会ホームページの拡充、研究委員会設置形態の見直し、国際化対応等について検討する。

(2) 春季全国大会においてフォーラム（溶接法研究委員会）を開催する。

(3) 秋季全国大会においてフォーラム（溶接冶金研究委員会）を開催する。

(4) 特別研究会「異材接合3Dプリンタ」（桐原聡秀主査）平成26年度に引き続き大阪大学接合科学研究所の研究集会と連動して活動する。講演会など年2～3回の行事開催を予定している。

(5) アドホック研究会「実構造物への展開を目指した溶接変形予測技術の検証」（村川英一主査）多層溶接継手の溶接変形を対象に溶接実験を行い、研究会参加者が各種溶接シミュレーションソフトを用いて計算を行い、実験計測データとの比較により予測精度の検

証を行う。また、実構造物の溶接変形予測に効果的に適用するため、モデル化における簡略化可能因子と簡略化不可能因子を峻別し、効率的な予測技術を提示する。

(6) 溶接学会記念基金助成活動

「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの形成」委員会(山本元道 主宰)

平成27年度に北海道(溶接学会秋季全国大会併催)にて開催予定の第5回日中韓ジョイントシンポジウム(5th EAST-WJ)に講演者派遣を行う。日中韓ジョイントシンポジウムは若手に限定したものではないが、第3回シンポジウムから各国3件ずつ若手講演者を出すことになったため、日本の若手講演者として本会メンバーから3名の講師を派遣し、若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワーク形成につなげるための活動を行う。本年度は日本が主催国であるため、シンポジウム終了後、上記ネットワーク形成を実現するために、若手のみならず、中国・韓国から参加される研究者・技術者との情報交換会を開催する予定である。

8.2 溶接構造研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 会期 1回の会期は原則として1日または2日とする
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第207回	3月	大阪	研究報告 5件 (日本船舶海洋工学会材料溶接研究会との合同委員会)
第208回	7月		研究報告 4件
第209回	12月		研究報告 4件
第210回	1月		研究報告 4件

8.3 溶接法研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会期 1回の会期は原則として1日または2日とする
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第230回	5月	東京	研究報告 5~6件
第231回	8月	大阪	研究報告 5~6件
第232回		地方	研究報告 5~6件 見学会
第233回	1月~2月	東京	研究報告 10~12件 (溶接冶金研究委員会と合同)

JIW第12委員会、JIW第212委員会と協力して国際研究活動を行う

8.4 溶接冶金研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会期 1回の会期は原則として1日または2日とする
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第219回	5月	東京	研究報告 5~6件
第220回	9月	大阪	研究報告 5~6件 見学会
第221回	10月~11月	地方	研究報告 5~6件 見学会
第222回	1月~2月	東京	研究報告 10~12件 (溶接法研究委員会と合同)
S9回	6月	大阪	腐食防食学会との研究交流・合同委員会
S10回		東京	腐食防食学会との研究交流・合同委員会

ブリテン「溶接冶金現象のシミュレーションと可視化研究(仮題)」の発刊

JIW第9委員会と協力して国際研究活動を行う

腐食防食学会との研究交流・合同委員会を開催する

8.5 溶接疲労強度研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会期 1回の会期は原則として1日または2日とする
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第245回	4月	東京	研究報告 4~5件
第246回	6月	東京	研究報告 4~5件
第247回		地方	研究報告 4~5件 見学会
第248回	1月	東京	研究報告 4~5件

8.6 高エネルギービーム加工研究委員会

- (1) 開催回数 年3回
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会期 1回の会期は原則として1日または2日とする
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第79回	5月	東京	研究報告 5~6件
第80回	10月	地方	研究報告 3件 見学会
第81回	2月	大阪	研究報告 5~6件

JIW第4委員会と協力して国際研究活動を行う
専門講座を実施する

8.7 軽構造接合加工研究委員会

- (1) 開催回数 年4回
- (2) 見学会 地方開催時および随時
- (3) 会期 1回の会期は原則として1日または2日とする
- (4) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第109回	6月	東京	講演、研究報告 5~6件
第110回	9月	大阪	講演、研究報告 5~6件
第111回		地方	講演、研究報告 5~6件 見学会
第112回	1月	東京	講演、研究報告 5~6件

他の研究委員会、他学協会と協力して活動する
WG活動を行う

8.8 マイクロ接合研究委員会

- (1) 開催回数 年3回
- (2) 会期 1回の会期は原則として1日または2日とする
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第110回	6月	東京	講演、研究発表 4~7件
第111回	9月	大阪	講演、研究発表 4~7件
第112回	11~12月	地方 or 東京	講演、研究発表 4~7件

Mate2016をスマートプロセス学会エレクトロニクス生産科学部会と共同で開催する

8.9 界面接合研究委員会

- (1) 開催回数 年3回
- (2) 会期 1回の会期は原則として1日または2日とする
- (3) 開催期、開催地および内容

会合名	開催月	開催地	内容
第99回	6月	東京	特別講演1件・研究発表 4~5件
第100回	10月	東京	特別講演1件・研究発表 4~5件
第101回	1月	東京	特別講演1件・研究発表 4~5件

第100回委員会は溶接協会ろう部会先端材料接合委員会との合同で開催予定

JIW第1委員会などと協力して国際研究活動を行う

9. 国内活動

- 9.1 日本学術会議材料工学委員会、日本溶接協会、軽金属溶接協会、日本非破壊検査協会、日本高圧力技術協会、腐食防食学会、日本機械学会、日本材料学会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本自動車技術会、日本工学会、その他関係学協会との協力を進め、本会の目標達成を図る。
- 9.2 支部活動の活性化を図る。

10. 国際活動

- 10.1 JIWの活動を支援し、IIWの活動を通じて溶接に関する国際活動を行う。
- 10.2 各国学協会と各種情報、機関誌等を交換し交流を図る。
- 10.3 日本、中国、韓国3ヶ国ジョイントシンポジウムの第5回を日本において開催する。
- 10.4 アジア溶接連盟(AWF)の活動及びシンポジウムに引き続き参加する。

II 平成27年度支部事業計画

1. 北海道支部

- 1. 事業
- 1.1 溶接技術講習会
(開催日時・場所・講演題目・講師：未定)
- 1.2 見学会
(開催日時、場所：未定)
- 1.3 平成27年度秋季全国大会 北海道支部主催行事
開催日 平成27年9月2日(水)~4日(金)
場所 北海道科学大学(札幌市手稲区前田15丁目4-1)
内容
・9月2日(水)懇親会(北海道科学大学HITプラザ)
・9月3日(木)技術セッション

- ・9月4日(金) ワークショップ
- ・9月2日(水)～4日(金) カタログ・製品展示
- 2. 会務
- 2.1 平成27年度支部商議員会並びに支部総会
日 時：平成27年3月24日(火) 14:20～15:20
場 所：北海道科学大学
議 事：1)平成26年度事業報告・決算報告・監査報告
2)平成27年度事業計画・収支予算
3)平成27年度秋季全国大会について
4)支部役員改選について
- 2.2 幹事会
第1回：平成27年3月24日(火) 13:00～14:00
場 所：北海道科学大学
第2回：5, 6月を予定
- 2.3 表彰
(1) 平成26年度溶接技術普及賞, 奨励賞
日 時：平成27年3月24日(火)
場 所：北海道科学大学
支部総会時に表彰
(2) 平成26年度溶接学会北海道支部学生奨学賞
平成27年3月に賞状と記念品を推薦者に送付し, 推薦者から, 修了式時に表彰
(3) 平成27年度北海道地区溶接技術競技大会, (一社)溶接学会北海道支部長賞
日 時：未定, 場 所：札幌市
- 2.4 平成27年度秋季全国大会実行委員会
第2回：平成27年3月24日(火) 15:20～16:30
場 所：北海道科学大学
3回程度開催予定
- 2. 東北支部
- 1. 事業
- 1.1 第27回溶接・接合研究会
日 時：平成27年7月17日(金) 13:00～17:00
場 所：秋田県(予定)
講演発表：10件程度
参加者数：50名程度
- 1.2 夏季技術セミナー
日 時：平成27年8月下旬
場 所：未定
- 1.3 刊行：なし
- 2. 会務
- 2.1 第52回商議員会
日 時：平成27年5月16日(土) 11:00～12:00
場 所：東北地区溶接技術検定委員会会議室にて開催
- 2.2 表彰
日 時：平成27年5月16日(土) 12:00～12:30
場 所：東北地区溶接技術検定委員会会議室にて開催
- 2.3 総会：商議員会議事録抜粋を支部会員に郵送
(平成27年6月中旬)
- 3. 東部支部
- 1. 事業
- 1.1 第43回溶接学会東部支部 実用溶接講座(見学会&講演会)
平成27年秋に実施予定。
主題：詳細検討中。
- 1.2 地区講演会・講習会
(1) 東京地区(地区委員長：須田 一師(日鐵住金溶接工業))
実施予定(詳細未定)。
(2) 神奈川地区(地区委員長：幸村 正晴(神戸製鋼所))
実施予定(詳細未定)。
(3) 千葉地区(地区委員長：加藤数良(日本大学))
実施予定(詳細未定)。
(4) 埼玉地区(地区委員長：金子 裕良(埼玉大学))
実施予定(詳細未定)。
(5) 群馬地区(地区委員長：楠元一臣(群馬大学))
実施予定(詳細未定)。
(6) 栃木地区(地区委員長：中島章典(宇都宮大学))

- 実施予定(詳細未定)。
- (7) 茨城地区(地区委員長：中村 照美(物質・材料研究機構))
実施予定(詳細未定)。
- (8) 山梨地区(地区委員長：宮川和幸(山梨県工業技術センター))
実施予定(詳細未定)。
- (9) 長野地区(地区委員長：中込忠男(信州大学))
実施予定(詳細未定)。
- (10) 新潟地区(地区委員長：宮下幸雄(長岡技術科学大学))
実施予定(詳細未定)。
- 2. 会務
- 2.1 平成27年度, 支部通常総会
平成26年度事業報告および会務報告
平成26年度収支決算報告
平成26年度事業および収支決算に関する監査報告
役員改選にともなう新役員承認の件
平成27年度事業計画報告
平成27年度収支予算報告
- 2.2 表彰
1) 平成26年度 溶接技術奨励賞, 溶接技術普及賞の表彰
平成27年5月開催予定の支部総会にて受賞式を行い表彰する。
受賞祝賀会：受賞式終了後, 秋葉原駅周辺にて実施予定。
2) 平成26年度 溶接学会奨学賞の表彰
平成27年3月 楯を推薦者に送付し, 推薦者から受賞者に楯を授与して表彰する。
- 2.3 常任幹事会・地区委員長会議
年4回, 適宜開催する。
- 4. 東海支部
- 1. 事業
- 1.1 溶接研究会, 講習会
(1) 溶接研究会
第83回 平成27年7月 名古屋市工業研究所
第84回 平成27年10月 名古屋市工業研究所
第85回 平成28年1月 名古屋市工業研究所
(2) 溶接技術講習会
第21回 平成27年11月 名古屋市工業研究所
(3) 協賛行事
(1)第1回「可視化ものづくり」シンポジウム～接合プロセスを例として～(3/16)
主催：豊橋技術科学大学(機械工学系, 人間・ロボット共生リサーチセンター,
次世代シミュレーション技術者教育推進室)
- 2. 会務
- 2.1 平成27年度支部総会及び特別講演
日 時：平成27年5月
場 所：名古屋市工業研究所
議 事：
1) 平成26年度事業報告及び決算報告
2) 平成26年度溶接学会技術賞授賞式
3) 平成27年度事業計画案及び予算案の審議
特別講演 1件
- 2.2 支部商議員会
第1回商議員会 平成27年5月 名古屋市工業研究所
第2回商議員会 平成27年11月 名古屋市工業研究所
- 5. 北陸支部
- 1. 事業
- 1.1 特別講演会
開催回数：2回, 開催日：5月, 11月,
場 所：富山県工業技術センター(5月), 11月は未定
内 容：
・第1回目講演会：富山県工業技術センター(高岡市)にて講演会を企画予定
・第2回目講演会：未定
- 1.2 研究発表会
開催日：11月 場所, 内容は, 未定

- 1.3 見学会
開催日 未定
場 所 未定
- 2 会務
- 2.1 平成27年度総会
開催日：5月予定
場 所：富山県工業技術センター
- 2.2 商議員会
開催時期（5月，11月予定），
場 所：通常総会と同時開催（未定）
- 6. 関西支部**
1. 事業
- (1) 平成27年度講演・工場見学会
関西地区の工場見学および研究発表を計画
（平成27年秋頃，場所・テーマ未定）
- (2) 支部表彰式を役員会開催に併せて実施予定
2. 会務
- (1) 役員会
平成27年度役員会を平成27年5月頃に開催予定
（場所未定）
- 7. 中国支部**
1. 事業
- 1.1 平成27年度溶接接合工学会学修会
（開催日時・場所・講演題目・講師：未定）
- 1.2 平成27年度溶接技術講習会
（開催日時・場所・講演題目・講師：未定）
- 1.3 平成27年度研究会・見学会
（開催日時・場所：未定）
2. 会務
- 2.1 第1回支部幹事会
日 程：平成27年6月
場 所：広島市内
- 2.2 第2回支部幹事会
日 程：平成27年12月
場 所：広島市内
- 2.3 第3回支部幹事会（支部商議員会と同時開催），支部総会
日 程：平成28年3月
場 所：広島市内
- 8. 四国支部**
1. 事業
- 1.1 支部総会
隔年開催のためなし。
- 1.2 講演会・講習会など
・第25回溶接技術実用講座
「最近の溶接施工技術の概要と応用」
日 時：平成27年11月13日（金）13：00～16：00
場 所：川田工業（株）四国工場
- 1.3 第20回材料関連学協会支部・研究会連合講演会
主 催：溶接学会四国支部
日 時：平成27年3月10日（火）10：30～17：00
場 所：（社）日本溶接協会四国地区溶接技術検定委員会
- 1.4 刊行
出版物名：第20回材料関連学協会支部・研究会連合講演会
講演概要集
- 2 会務
- 2.1 常任幹事，地区委員長会議
- 2.1.1 平成27年度第1回幹事会
日 時：平成27年3月10日（火）12：00～13：00
場 所：（社）日本溶接協会四国地区溶接技術検定委員会
- 2.1.2 平成27年度第2回幹事会
日 時：平成27年11月13日（金）12：00～13：00
場 所：川田工業（株）四国工場
- 9. 九州支部**
1. 事業
- 1.1 平成27年度溶接学会九州支部研究発表会
日 時：平成27年7月（予定）

- 会 場：九州工業大学
研究発表15件程度
参加者：30～40名
- 1.2 若手グループ研究会・見学会
日時，会場 調整中
- 1.3 溶接技術者育成教育
- 1.4 刊行
出版物名：溶接学会九州支部講演論文集，第12号
2. 会務
- 2.1 平成27年度商議員会
日 時：平成27年7月（予定）
会 場：九州工業大学
- 2.2 平成27年度通常総会
日 時：平成27年7月（予定）
会 場：九州工業大学